

予算特別委員会 審査概要

予算特別委員会委員 (8人)

- 委員長 谷田部 和夫
- 副委員長 田辺 良彦
- 委員 浅野 和男
- 委員 石井 功
- 委員 市原 広子
- 委員 正木 きよし
- 委員 佐々木 貴史
- 委員 鈴木 えつお

一般会計の審査から

【総括質疑】

- ・今回の地震による停電の関係で、わかった段階で防災行政無線等で市民に周知徹底することについてどう考えるのか。
- ・過去10年間の地方財政計画の前年度比の推移は。
- ・今回の地震に際して、狛江市の消防署の対応はどうなっているのか。
- ・保育園の耐震改修の今後の計画は。
- ・今回の突発的な地震に際し、

- ・保育園児、学童、小学生は無事故で終えられたのか。
- ・「東京一安全な都市―狛江」の実現を目指す市長の考え方は。
- ・市長の公約で、4つのゼロ、6つのビジョンを予算にどう反映したのか。
- ・旧航空計器跡地の土壌調査の結果をなぜ担当委員会に報告しなかったのか。
- ・今回の地震の対応で、コミュニケーション弱者への情報提供はしたのか。
- ・ダイオキシン対策について、担当部は業者が市民に対して説明をお願いする要請はしたのか。
- ・狛江市定員適正化計画について。
- ・「音楽の街―狛江」は最終的に何をイメージしているのか。

【歳入】

- ・あいとびあセンターの医師会、歯科医師会、薬剤師会の3師会の使用料免除について。
- ・各施設をキャンセルした場合



【歳出】

に払い戻しにばらつきがあるが、統一を。

- ・平成23年度の各予算は、2月23日の本会議招集日に上程され、議会は8人の委員をもって構成する予算特別委員会(委員長・谷田部和夫)を設置しこれに付託後、3月14・15・16・17日の4日間慎重に審査を行いました。
 - ・審査の結果、一般会計予算については、1人の委員から修正案が提出されましたが、賛成少数で否決され、原案のとおり可決されました。
 - ・また、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・公共下水道・駐車場事業の各特別会計予算は、いずれも原案のとおり可決されました。
 - ・主な質疑は以下のとおりです。
- (総務費)
- ・「広報こまえ」作成委託と広報撮影記録写真データ化業務の2つを統合してコストダウンできないのか。
 - ・市の庁用車関係の緊急時のガソリンの手配はどうなっているのか。
 - ・「絵手紙発祥の地」について、空き家都営住宅の地元割り当て募集の説明を。
 - ・消防団長と選挙管理委員長の報酬との違いは何か。
 - ・選管はもう少し親切・丁寧な発表を。
- (民生費)
- ・シルバーピアの入居について。
 - ・民生委員の欠員状態について。
 - ・市民福祉推進委員会関係費について。
 - ・視覚障がい者へのサービスについて。
- (衛生費)
- ・健康づくり推進協議会関係費について説明を。
 - ・子宮頸がんワクチンについて。
 - ・ヒブワクチンの現状は。
- (農業費)
- ・農業委員会として農地を減らさない課題は何か。減少に歯止めをかけるために積極的な手だてを。
- (商工費)
- ・市内空き店舗実態調査委託の組織体制について。
 - ・共通商品券の発行及び観光マップ作成について。
 - ・商工業者の育成と防災の観点で、民間業者との協定を結んで応援体制をとるべきではないか。
- (土木費)
- ・境界測量図作成だが、類似的な内容を統合してコストダウンすることはできないのか。
 - ・多摩川河川敷活用事業について。
- (消防費)
- ・地域公共交通会議の充実と強化について。
- (教育費)
- ・狛江消防署の消防ポンプ車2台派遣について。
 - ・原発事故に対する対応について。
- (その他の支出)
- ・みんな子育て事業について。
 - ・子育てポータルサイト構築費について。

平成23年度 一般会計予算

歳入・歳出予算総額 252億3600万円

